

## 熱工学コンファレンス 2022 開催報告

実行委員会 委員長 丸山茂夫（東京大学）  
幹事 千足昇平，杵淵郁也（同上）

熱工学コンファレンス 2022 が 2022 年 10 月 8 日(土)と 9 日(日)の 2 日間にわたって東京大学本郷キャンパスにて開催されました。講演等は基本対面としましたが、Zoom を併用したハイブリッド形式により実施致しました。

今回、4 年ぶりの対面実施となりましたが、431 名（招待講演の方含む）の方にご参加頂きました。講演は、学術講演が 222 件、特別講演 1 件、同日開催された熱工学ワークショップでの講演 2 件があり、さらに今回は海外からの招待講演として 2 件の Keynote 講演を実施致しました。熱工学コンファレンスの学術講演は、一般

セッション (GS) およびオーガナイズドセッション (OS) で構成され、今回は GS が 28 件、残り 194 件が OS でした。OS が占める割合が大きく、オーガナイザーの皆様にはプログラム編成も含めご協力を頂いております。今回は、昨年実施されました 13 個の OS に、新しい OS (OS14: ナノスケール熱制御) が加わりました。OS14 では 19 件の学術講演があり、非常に活発な議論が行われました。また、熱工学コンファレンスは若手優秀講演フェロー賞の選考対象講演会です。若手講演者が多く、121 件と半数以上の講演が審査対象となりました。本審査は、各セッションの座長を含め、多くの審査員の方々にご協力頂きました。心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の状況の予測が非常に困難であったこと、また当日体調不良等の講演者・参加者の方への対応が必要なことを踏まえ、8 つの講演室および特別講演・表彰式を行いました大講義室の全講演会場において、Zoom を通じての発表、聴講および質疑応答も可能なハイブリッド形式での開催と致しました。感染状況によっては、フルオンラインでの開催の可能性も



図 1 熱工学コンファレンス 2022 会場.



図 2 講演風景.

含め準備を進めて参りましたが、会期中における東京都の新型コロナウイルス新規感染者数は減少状況にあり、多くの方に対面にてご参加頂くことができました。対面でのコミュニケーションのしやすさにオンライン形式の利便性が加わることで、より多くの参加者の方に有意義な学术交流の場を提供できたのであれば幸いです。

特別講演会は一般社団法人クリーン燃料アンモニア協会 会長の村木 茂様に「エネルギー大変革時代のチャレンジ -カーボンニュートラルに向けた水素、アンモニアの役割-」と題したご講演を頂きました。また、恒例の講習会委員会（委員長 巽和也（京大））主催の熱工学ワークショップは、初日の昼休みに開催されました。東悠介様（キオクシア株式会社）による「半導体メモリデバイスにおける熱問題と今後の展望」、山内 浩平様（富士電機株式会社）による「水冷モジュールの高精度な過渡熱インピーダンス測定とパワーサイクル寿命のオン時間依存性」の2件のご講演を頂きました。

1日目の夕方に懇親会（意見交換会）を実施し、110名の方にご参加頂きました。当初、東京大学キャンパス内の会場での懇親会を計画しておりましたが、新型コロナウイルスの影響で急遽会場を東京ガーデンパレスに変更し実施致しました。懇親会は研究者間の大切なコミュニケーションの場であり、特に自粛やオンライン生活を経て、その重要性は増しております。今回、大勢の方にご参加頂き、実行委員会として心より感謝致します。懇親会では、実行委員長挨拶、乾杯挨拶



図3 熱工学ワークショップ.

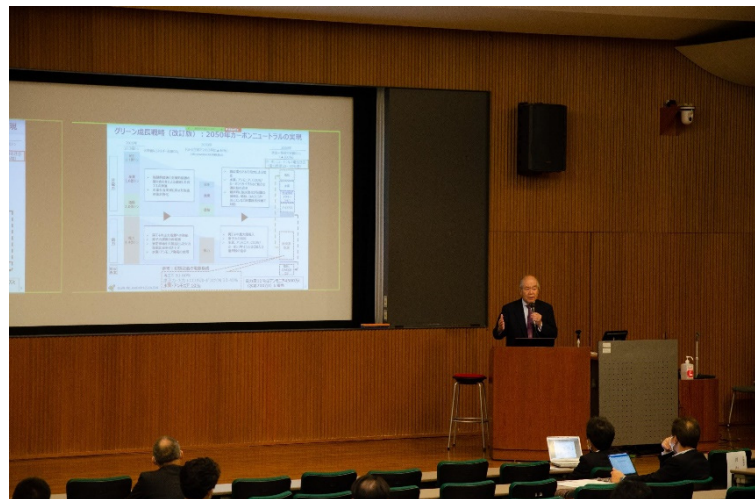


図4 特別講演.



図5 表彰式.

擲に引き続き、熱コレの表彰式、部門賞受賞者のスピーチ、そして次回開催地の案内をして頂きました。

2022年1月20日に熱工学コンファレンスのホームページを開設、6月1日に講演申込の受付を開始致しました。講演申込および講演原稿の投稿の受付には、従来から熱工学コンファレンスで使用しているシステムを利用致しました。その際、セキュリティ等の問題で、確認メールが受け取れない等の事例が多数生じ、一部の参加者の皆様に大変ご迷惑をお掛けしました。システムに関しましては、次回以降改善していく予定になっております。また、熱工学コンファレンスへの参加登録は、機械学会が契約している Peatix を利用致しました。支払い方法がクレジットカード・コンビニ・ATM のいずれかに限られ、ご不便をおかけした面もあったかと思いますが、皆様のご協力により、請求書払い等の個別対応は数件のみで終わることが出来ました。

末筆ではございますが、熱工学コンファレンス 2022 にご協力いただいた多くの実行委員会や関係者の皆様、会場準備や当日の会場運営に協力頂いた多くの学生の皆様に改めて御礼申し上げます。



図6 懇親会会場.



図7 懇親会集合写真.